

## ラリタン PDU PX4



このたびは、ラリタンのインテリジェントPDU「PX4」をご購入いただきまして、ありがとうございます。

このクイックセットアップガイドでは、PX4の設置および設定方法について解説いたします。詳細につきましては、ラリタンWebサイトのリリースノートやオンラインヘルプをご参照ください。

### パッケージ一覧

- PX4本体ユニット
- ラックマウント用ボタン x2
- ラックマウント用スライドブラケット x2

欠品がある場合は、ラリタンの窓口までご相談ください。

### はじめに

1. 設置場所の確認：設置場所が清潔で、極端な温湿度の変化がない事を確認してください。ケーブルおよびコンセントの接続のために、PDUの周囲に十分なスペースを確保してください。安全上の注意事項は、オンラインヘルプをご参照ください。
2. 必要に応じて、オンラインヘルプに用意されているEquipment Setup Worksheetを利用して、PDUのアウトレットに接続したITデバイスのモデル名、シリアル番号、利用状況を記録してください

## 安全上の注意点

警告! この製品を設置・操作する前に、このガイドの全てのセクションをご確認ください。これを怠りますと、感電、火災、死傷事故に繋がる可能性があります。合わせて、オンラインヘルプに記載された警告内容に必ずご注意ください。

警告! 本製品は、製品ラベルに記載されている電圧の交流電源に接続してください。

警告! 本製品は、日本国内の法律で定められた適切なフューズおよびサーキットブレーカーによって保護された交流電源に接続してください。

警告! 本製品は、結露のない室内で使用してください。

警告! 本製品をアースに接続して保護してください。本製品入力プラグとレセプタクルの間に「ground lift adaptor」を使用しないでください。

警告! 購入製品が端子台接続もしくはプラグの組み立てを必要とするモデルである場合、電気工事士等の有資格者が作業を実施してください。日本国内で定められた法律に基づいた接続を実施する必要があります。

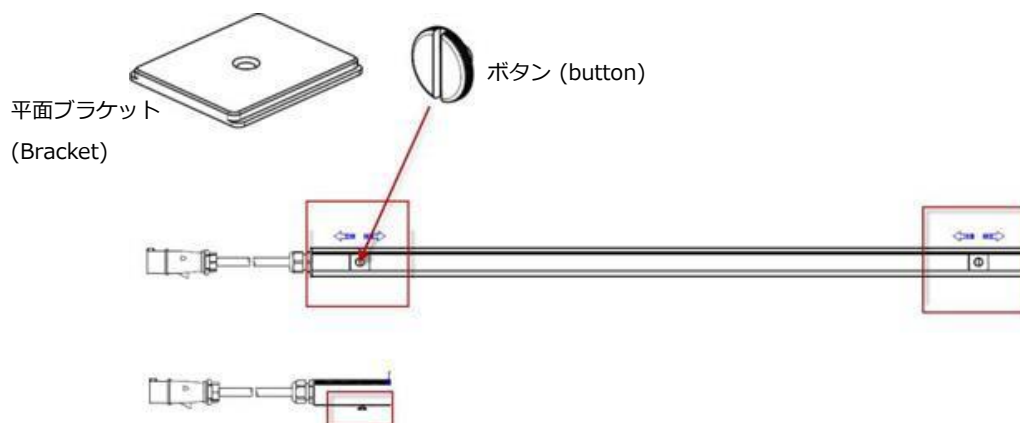
## PX4の設置

### サーキットブレーカー搭載モデルにおける設置向き制限

殆どのPDUは任意の向きで取付可能ですが、サーキットブレーカー搭載モデルは、以下の規則に従ってください。

- サーキットブレーカーを下向きにしないでください。例えばサーキットブレーカーを搭載した0UのPDUを、天井（水平）に取り付けることはできません。

### 0U ボタンマウント



#### 型番:

- 250-70-0140-00: button (2)
- 250-70-0141-00: bracket (2)
- 平面ブラケットを0Uモデルの背面にスライドさせて、PDU両端の穴に合わせます。
- ボタンをブラケットの穴に押し込み、指で回します。
- PDUをラックへ設置する際に、キャビネットの穴にボタンを押しつけて、PDUを下にスライドさせて固定します。

## iX9 Controller



### ▶ 外部インターフェース

- 10/100/1000 Ethernet ポート x2 (ETH①/②)
- USB 2.0 type B (Device) ポート x1
- USB 2.0 type A (Host) ポート x2
- SENSOR (1-Wire + RS485) ポート x1
- PDU LINK ポート x1

### ▶ 内部インターフェース

- RS-485 bus x1
- USB 2.0 (Host) x1

## RamLock 入プラグ固定機構



- 負荷機器の入プラグを差し込むだけで固定できます。
- 特殊な工具は不要です。
- 解除レバーを動かして固定された入プラグを引き抜くことができます。

## ネジ止め接地（アース）

PDUの接地は、入力プラグに用意されたアースピンによって行われます。しかし、一部のモデルはTT接地に接続するため、あるいは国や地域、または地域の電気放棄に従って管轄当局（AHJ）によって要求される場合を想定して、ネジ付き接地が用意されています。

PDUユニットにプリントされる接地記号は以下です。（モデルによっては、表示が省略される事があります）



必要に応じて、アース線をこの記号まで配線し、付属のネジを固定することによりPX4を保護接地します。

## PDUを電源に接続する

注意：電源コードを強く引っ張らないでください。

### ▶ PDUを電源に接続するためには

1. PDUの全てのサーキットブレーカーがOnになっていることを確認します。フューズ搭載モデルは、全てのフューズが正しく挿入され、フューズカバーがあるモデルでは、カバーが閉じていることを確認します。

---

注意：サーキットブレーカーやフューズが非搭載のモデルがあります。

---

2. PDUに貼付されたラベルで定格を確認し、適切な電源回路に接続します。
3. PDUに電源が供給されると、セルフテストとブートが開始されます。セルフテスト中には、アウトレットのLEDが点滅／点灯します。

---

注意：電源投入直後にPX4からピーブ音が鳴る場合、サーキットブレーカーが作動しているか、L-N配線が逆になっている可能性があります。ブレーカーが作動していない場合は、レセプタクルの配線等をご確認ください。

---

4. ブート完了後、アウトレットのLEDが点灯し、フロントパネルのLCDが稼働します。

## PDUをネットワークに接続する

PX4をリモート管理するためには、PX4をローカルエリアネットワーク（LAN）に接続します。LANポート

は工場出荷時状態で利用可能で、LANポートのレイアウトと数はモデルによって異なることがあります。

## ▶ 有線ネットワーク接続

1. LANケーブルをPDUの1つもしくは両方のLANポートに接続します。
  - もし、一方のLANポートが高速である場合は、そちらを優先して使用します。
2. LANケーブルのもう一方をネットワーク機器に接続します。

iX9 コントローラーのサンプル (モデルによって異なります)



---

警告: 標準的なLANケーブルと異なる仕様のRJ-45コネクタをLANポートに誤って挿入した場合、ハードウェアが破損する可能性があります。

---

## 工場出荷時認証設定

- ユーザー名: admin
- パスワード: legrand

## 初期設定の選択

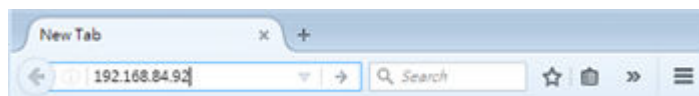
ご利用環境に応じて、PX4の初期設定に最適な方法を選択します。

- Webブラウザの使用: [Webブラウザによる初期設定](#) (P.5)
- スマートフォン/タブレットの使用: [PDView Appによる初期設定](#) (P.6)
- コマンドラインの使用: [コマンドライン\(CLI\)による初期設定](#) (P.6)

## Webブラウザによる初期設定

DHCP環境に接続するとIPアドレスが自動的に割り当てられるので、PDUのフロントパネルLCDで確認します。

1. 「X」もしくは「O」ボタンでメインメニューを表示します。
2. 矢印ボタンで「Device Info」まで移動して「O」ボタンを押します。
3. 矢印ボタンで表示情報を更新してIPアドレスを表示します。
4. WebブラウザにIPアドレスを入力して、工場出荷時認証設定を使用してログインします。セキュリティに関する警告メッセージが表示された際には、受け入れて次に進みます。



注意: 最初のログイン時には、工場出荷時認証設定のパスワードを変更しなければいけません。

## コマンドライン(CLI)による初期設定

以下は、ETH1 (LAN1) に静的ネットワークを設定するコマンド実行例です。

```
#config
config:# network bridge enabled false
config:# network ipv4 interface ETH1 enabled true config:# network ipv4
interface ETH1 configMethod static
config:# network ipv4 interface ETH1 address 192.168.56.80/24 config:# network ipv4
interface ETH1 gateway 192.168.56.128 config:# network dns firstServer 1.1.1.1
secondServer 1.0.0.1 config:# network ethernet Eth1 speed 100Mbps duplexMode full
config:# apply
```

## PDView Appによる初期設定

1. PDView appをiOSもしくはAndroidデバイスにインストールします。(AndroidはUSB「On-The-Go (OTG)」必須)



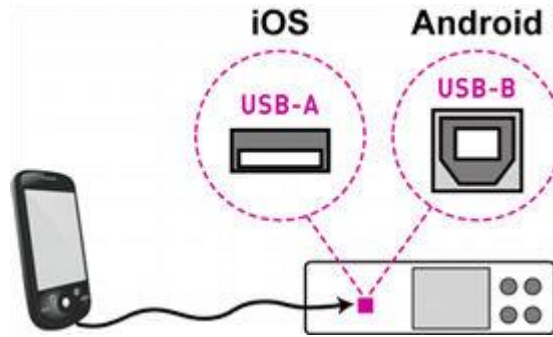
- <https://itunes.apple.com/app/raritan-pdview/id780382738>



- <https://play.google.com/store/apps/details?id=com.raritan.android.pdview>



2. それぞれのデバイスで利用可能なUSBケーブルを用意します。
  - iOS: iOSデバイスに同梱されたUSBケーブルを使用します。
  - Android: USB OTGアダプターケーブルを使用します。
3. それぞれのデバイスをUSBケーブル経由でPDUの適切なUSBポートに接続します。
  - iOS: USB-Aポート
  - Android: USB-Bポート



### Connected

4. それぞれのデバイスでPDView appを起動して、PDUが認識されるのを待ちます。
5. 工場出荷時認証設定が変更されていない場合、もしくはPDU Viewが正確なユーザー名とパスワードを保持している場合、PDViewはPX4のWebインターフェースに自動ログインします。

PDViewが自動ログインしない場合は、ログイン画面が表示されるので、適切なユーザー名とパスワードを入力する必要があります。また、最初のログインの場合、工場出荷時認証設定のパスワードを変更するように強制されます。